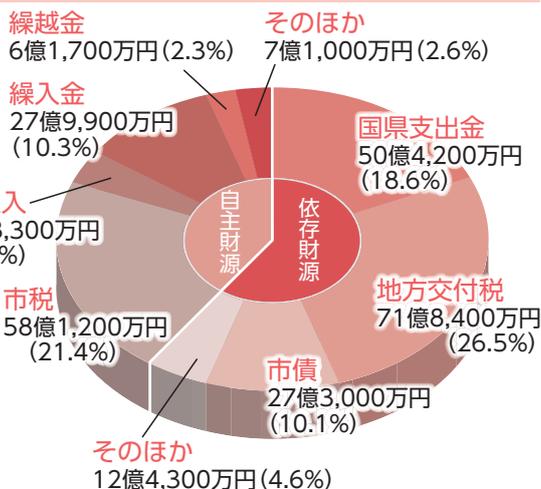
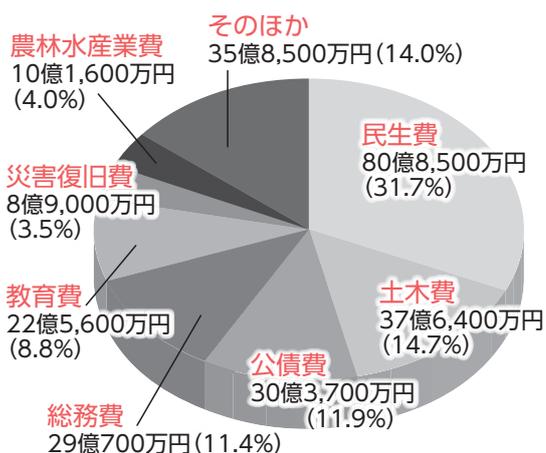


令和元年度 決算概要報告

歳出 255億4,000万円
前年比12億2,000万円(5.0%)増

歳入 271億2,000万円
前年比17億5,600万円(6.9%)増



- 【民生費】** 高齢者福祉や子育て支援、生活保護など福祉事業の経費
- 【土木費】** 住宅施設や道路整備などの経費
- 【公債費】** 借りたお金や利子の返済の経費
- 【総務費】** 市税の計算、行革など行政の総合的な運営にかかる経費
- 【教育費】** 学校教育や生涯学習の経費
- 【災害復旧費】** 道路や漁港などの復旧の経費
- 【農林水産業費】** 農業や水産業振興などの経費
- 【その他】** 防災、商工振興、保健などの経費

- 【自主財源】** 市民税や固定資産税など市に納められた税金
- 【市税】** 市民税や固定資産税など市に納められた税金
- 【諸収入】** 貸付金の返済など
- 【繰入金】** 東日本大震災復興交付金基金からの繰入金など
- 【繰越金】** 前年度からの繰越金
- 【その他】** 使用料や手数料など
- 【依存財源】** 国・県が必要と認めた事業に対し配分されるお金
- 【国県支出金】** 国・県が必要と認めた事業に対し配分されるお金
- 【地方交付税】** 人口や税収などに応じて国から配分されるお金
- 【市債】** 施設を造るときなどに借りるお金
- 【その他】** 国から交付される譲与税など

令和元年度の決算は、歳入が271億2,000万円、歳出が255億4,000万円、差引額が15億8,000万円でした。単年度では完成しない復旧・復興事業などを、翌年度でも実施するために繰り越した財源を除いた実質収支は7億7,300万円の黒字になりました。

一般会計



酒えもん

市の会計は、一般会計・特別会計・企業会計の3種類に分けられます。「一般会計」は、市の基本的な行政サービスに関わる会計、「特別会計」は、保険料や利用料などの収入で運営する事業の会計、「企業会計」は、民間企業と同じ考え方に基づいて会計処理を行う会計のことです。各会計の令和元年度の決算概要をお知らせします。

令和元年度は、第5次長期総合計画の「総仕上げ」と次期計画への「架け橋」として、「おいしさと笑顔がつどうみなとまち塩竈」の実現と「復興まちづくりの総仕上げ」という目標達成に向けて取り組んだ年度でした。

人口減少の抑制とまちの活力再生に向け、定住促進と地域活性化のための「子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業」、小規模事業者の持続的発展を促進するための「小規模事業者サポート事業」を継続するなどの取り組みを行いました。

また、心身のケアや災害公営住宅におけるコミュニティ形成などを支援する「被災者支援総合事業」や「浦戸地区復興のための「漁業集落防災機能強化事業」などの復興の達成への取り組みを行いました。

歳入

歳入決算額は、271億2,000万円の前年度より17億5,600万円の増になりました。主な内容としては、復旧・復興事業の進捗により震災復興特別交付税が増加し、地方交付税が12億3,200万円の増となったことなどによるものです。

市税では、固定資産税で新築・増築件数の増加などにより、1,400万円増の58億1,200万円になりました。

歳入は、国県支出金や地方交付税などの依存財源に頼る状況にあるため、今後も、市税をはじめとした自主財源のさらなる確保に努めていきます。

歳出

歳出決算額は、255億4,000万円の前年度より12億2,000万円の増になりました。主な内容としては、東日本大震災関連事業の完成に向けた規模縮小に伴い、災害復旧費で5億1,300万円の減となった一方で、民生費で施設型給付費等支給事業や生活保護医療扶助費の増により、6億2,100万円の増になったことなどによるものです。震災後10年を目前とし、震災関連事業から通常事業へシフトしていく「架け橋」となる決算になりました。



海岸通地区震災復興市街地再開発事業



海岸通子育て支援施設整備事業

令和元年度の主な事業

総務費	ふるさとしおがま復興基金積立金 東日本大震災復興交付金基金積立金	3億1,900万円 1億6,400万円
民生費	子ども医療費助成事業 藤倉児童館及び放課後児童クラブ指定管理運営事業 海岸通子育て支援施設整備事業 プレミアム付商品券事業 津波被災住宅再建支援事業 被災者見守り・相談支援事業	1億7,600万円 1億2,600万円 6,600万円 5,000万円 3,500万円 1,100万円
農林水産業費	桂島地区漁業集落防災機能強化事業 野々島地区漁業集落防災機能強化事業 新浜地区漁業集落防災機能強化事業	2億5,100万円 1億1,200万円 6,400万円
土木費	海岸通地区震災復興市街地再開発事業 西塩釜駅自由通路エレベーター整備事業 子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業	1億2,200万円 9,400万円 2,500万円
教育費	中学校長寿命化改良事業 小中学校空調整備事業 スポーツ施設整備事業	4億500万円 3億円 4,000万円
災害復旧費	漁港施設災害復旧費	8億8,800万円
その他	公共駐車場取得事業 塩竈水産品ICT化事業 小規模事業者サポート事業	1億9,400万円 900万円 200万円

1人あたりに
いくら使われたでしょう?
市民1人あたり年間
474,765円

人口と歳出決算額

人口53,795人 (R2.3.31現在)	総務費 54,038円	民生費 150,293円	土木費 69,969円	農林水産費 18,887円
255億4,000万円 (一般会計歳出決算額)	教育費 41,937円	消防費 13,310円	衛生費 30,579円	その他 (公債費・災害復旧費など) 95,752円

財政の健全化に関する指標

4指標とも早期健全化基準以下でした。「実質公債費比率」は地方債発行の抑制による公債費の減少などにより数値が改善しました。

健全化判断比率	平成30年度	令和元年度	早期健全化基準 ※1	財政再生基準 ※2
実質赤字比率 (一般会計などの赤字を示す指標)	黒字	黒字	13.03%	20%
連結実質赤字比率 (全会計の赤字を示す指標)	黒字	黒字	18.03%	30%
実質公債費比率 (借入金の返済費用の割合を示す指標)	7.7%	6.2%	25%	35%
将来負担比率 (一般会計などが将来負担すべき負債の割合を示す指標)	-	-	350%	なし

※1 財政健全化計画を立て、自主的な改善努力が必要となる基準

※2 財政再生計画を立て、国の関与を受け確実な再生が必要となる基準

一般会計に関する問い合わせは
財政課 財政係 ☎ 3551-5814

塩子と釜男も気になる
「実質公債費比率」のはなし

塩子: 財政の健全化に関する指標の「実質公債費比率」って何だろう?

釜男: 借入金(地方債)の返済額(公債費)が、市の財政規模に占める割合のことよ。

塩子: 前年度に比べて減っているけど、これは公債費が減っているということだよな?

釜男: そうね。塩竈市は、地方債の残高も減ってきていて、単年度あたりの公債費も減ってきているのよ。

塩子: 今後は、この数値は減っていくのかな?

釜男: それは一概には言えないわ。地方債は通常最初の数年は利息のみの支払いで、その後、元金の支払いが始まるから、地方債を多く発行するような事業があると、その何年か後に公債費が大きく増えてしまう可能性があるの。

塩子: 地方債発行と公債費のバランスを考えると大切だよ。

特別会計



まぐ介

昨年度に引き続き、令和元年度の決算は、10会計すべてが収支均衡以上となりました。一般会計からの繰入金は、復興事業の進捗などにより、前年度より2億5,200万円増え、39億4,100万円になりました。今後も、安定的な財政運営を図り、健全化に努めます。

事業	歳入決算額	歳入のうち一般会計からの繰入金	歳出決算額
交通事業	1億9,600万円	7,800万円	1億9,600万円
国民健康保険事業	59億8,900万円	4億1,100万円	59億5,500万円
魚市場事業	1億6,200万円	7,200万円	1億6,200万円
下水道事業	65億900万円	21億1,700万円	59億9,500万円
漁業集落排水事業	1億2,900万円	2,200万円	1億1,000万円
公共用地先行取得事業	6,700万円	6,700万円	6,700万円
介護保険事業	55億3,600万円	7億9,000万円	55億3,500万円
後期高齢者医療事業	7億200万円	1億6,900万円	6億9,800万円
北浜地区復興土地区画整理事業	2億6,600万円	2億1,500万円	1億1,100万円
藤倉地区復興土地区画整理事業	1,400万円	-	1,400万円
合計	195億7,000万円	39億4,100万円	188億4,300万円

特別会計に関する問い合わせは
財政課財政係 ☎ 355-5814

水道会計



シオンちゃん

収益的収支(税抜) グラフ①

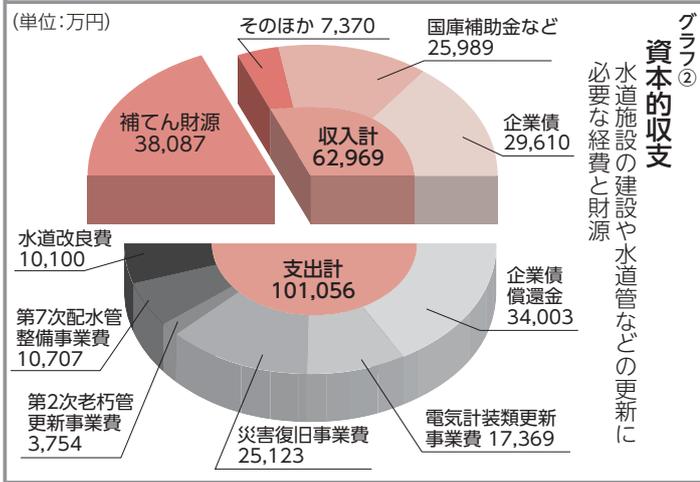
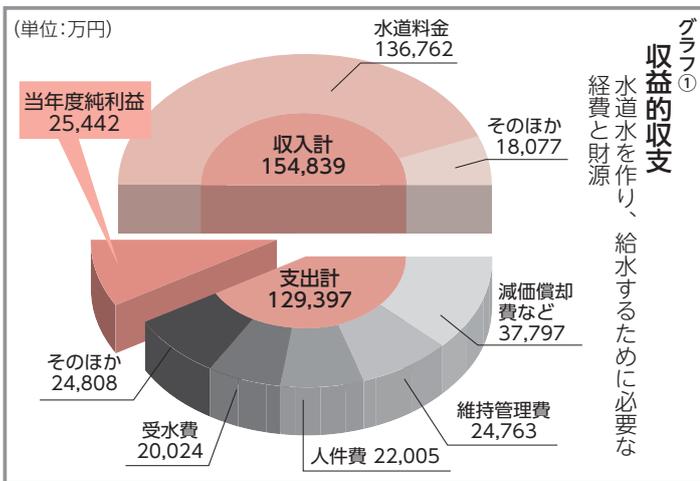
収入は15億4,839万円、支出は12億9,397万円、2億5,442万円の黒字が生じました。

資本的収支(税込) グラフ②

収入は6億2,969万円、支出は10億1,056万円で、3億8,087万円の資金不足が生じましたが、留保資金などで補てんしました。

利益剰余金

令和元年度水道事業決算では利益剰余金が17億6,382万円になりました。



災害に強い水道の整備

水道施設の災害復旧工事として、平成30年度の繰越事業で海岸通(3路線)、藤倉一丁目、新浜町一・三丁目、桂島地区の6路線(延長2,166.4m)、令和元年度事業で海岸通地区の1路線(延長87.2m)の配水管敷設替工事を行いました。

また、安全安心な給水を図るための第7次配水管整備事業として、字庚塚(2路線)、多賀城市下馬四丁目、母子沢町地区の4路線(延長1,061.0m)の配水管敷設替工事を行いました。さらに、第2次老朽管更新事業として、権現堂および梅の宮地区の2路線(延長165.7m)の配水管敷設替工事を行い、災害に強い水道管路の構築を図りました。



配水管敷設替工事(海岸通地区)

電気計装設備の更新

電気計装類更新事業として、梅の宮浄水場および各配水池の電気計装の老朽化に伴う電気設備等更新工事を進めています。4力年事業の2力年目となる令和元年度は自家発電装置、受電盤、配電盤などの製作が完了しました。

今後も健康で豊かな生活環境を支えるライフラインである水道の安定供給のため、水道施設の耐震化や老朽化した施設の更新に努めます。

水道会計に関する問い合わせは
水道部業務課 ☎ 364-11415



収益的収支(税抜)表①

収入総額28億1,149万円、支出総額28億1,040万円となり、損益は109万円の純利益となりました。

資本的収支(税込)表②

収入総額9,459万円、支出総額1億5,047万円となり、不足額5,588万円は留保資金で補ってりました。

収益的・資本的収支 前年度比較

表② 資本的収支(設備投資) (単位:万円)

	元年度	30年度	前年差
総収入 A	9,459	9,734	△275
一般会計からの負担金・補助金	5,779	5,614	165
企業債・長期借入金	3,680	4,120	△440
国県補助金など	0	0	0
総支出 B	15,047	15,215	△168
建設改良費	4,111	4,607	△496
企業債償還金	10,286	9,958	328
長期借入金償還金	650	650	0
差引 A-B	△5,588	△5,481	△107

表① 収益的収支(事業運営費) (単位:万円)

	元年度	30年度	前年差
総収益 ①	281,149	292,208	△11,059
医業収益	246,915	239,131	7,784
医業外収益	34,195	53,068	△18,873
特別利益	39	9	30
総費用 ②	281,040	292,097	△11,057
医業費用	273,544	285,795	△12,251
医業外費用	6,786	6,082	704
特別損失	710	220	490
当年度純利益 ①-②	109	111	△2

新改革プラン目標の達成状況

平成28年度に策定した「塩竈市立病院新改革プラン」に基づき、医療機能に係る目標(表③)と経営の効率化(表④)の達成を目指し、さまざまな収入確保と費用削減に取り組みました。

さらに令和元年度は、宮城県地域医療構想に即した「病床機能の転換」に取り組み、経営の安定化と、地域における当院の役割を明確にしました。その結果、新改革プランの目標である、経常収支黒字化を前年度に引き続き達成し、新たな不良債務は発生していません。

病床機能の転換内容

宮城県地域医療構想を踏まえた以下の取り組みを実施しました。

- 急性期病棟2病棟を1病棟に集約
- 地域包括ケア病棟を1病棟(42床)から2病棟(90床)に拡大
- 療養病棟の廃止

主な収入確保の取り組み

- 総合診療室での診療を2診体制とし新患受け入れ態勢を強化
- レスパイト入院の受け入れを開始。あわせて対象者の無料送迎サービスを開始。
- 脳ドックのウェブ予約の開始

主な費用削減の取り組み

- 後発薬品の積極導入(導入率91:1%)
- 薬品使用期限周知徹底による廃棄防止

表④ 経営の効率化に係る各種数値目標の達成状況

項目	H30	目標	R1	目標差	達成率(%)
1 病床利用率 (%)	81.1	93.9	75.9	△18.0	80.8
2 1日当たりの入院患者数 (人/日)	130.5	151.3	122.2	△29.1	80.8
3 入院患者1人1日当たりの入院診療単価 (円)	30,144	29,105	33,591	4,486	115.4
4 1日当たりの外来患者数 (人/日)	240	276.3	243.9	△32.4	88.3
5 外来患者1人1日当たりの外来診療単価 (円)	10,694	10,800	10,694	△106	99.0
6 紹介患者数 (人/年)	1,390	1,500	1,435	△65	95.7
7 人間ドック件数 (件/年)	2,815	2,400	2,883	483	120.1
8 脳ドック件数 (件/年)	221	150	253	103	168.7
9 健康診断件数 (件/年)	3,953	4,300	3,913	△387	91.0

表③ 医療機能に係る各種数値目標の達成状況

医療機能	果たすべき役割	項目	H30	目標	R1	目標差	達成率(%)
急性期医療	救急患者の受入 急性期病棟の維持	1 救急患者受入件数 (件/年)	784	1,000	722	△278	72.2
		2 手術件数(件/年)	385	240	343	103	142.9
		3 うち全身麻酔件数 (件/年)	156	150	149	△1	99.3
		4 内視鏡検査件数 (件/年)	2,691	2,800	2,810	10	100.4
		5 内視鏡治療件数 (件/年)	170	240	225	△15	93.8
		6 CT検査件数 (件/年)	3,165	3,240	3,168	△72	97.8
		7 MRI検査件数 (件/年)	1,370	1,500	1,314	△186	87.6
回復期医療	在宅復帰支援	8 3階在宅復帰率 (%)	91.6	80.0	88.6	8.6	110.8
		5階在宅復帰率 (%)	-	80.0	81.0	1.0	101.3
在宅医療	在宅医療の充実	9 訪問診療件数 (件/年)	1,689	1,600	1,565	△35	97.8
		10 訪問看護件数 (件/年)	2,294	2,600	2,135	△465	82.1
		11 訪問リハビリ件数 (件/年)	3,282	3,000	2,825	△175	94.2

医療機器整備と施設改良事業

診療の効率化を図るため、医療機器を整備したほか、快適な療養環境を提供するため施設改良を行いました。主な内容は次のとおりです。

医療機器整備事業

超音波画像診断装置、3次元眼底像撮影装置、内視鏡画像ファイリングシステム、マンモグラフィワイークステーションなどを更新しました。

施設改良事業

5階病棟ナースコール更新工事、放射線科検査室空調更新工事、トイレ改修工事を実施しました。

地域に貢献する病院として

認知症初期集中支援事業

認知症が疑われる方の早期診断、早期対応に向けた支援チームに医師および看護師を派遣

健康づくりサークルサポート事業

市民向け講座として、公民館で理学療法士による講座を開催しました。

公開セミナー

どなたでも参加できる講座を開催し、医師および医療スタッフが身近な病気に関する情報を発信しました。

職場体験学習の受け入れ

塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町の中学生の職場体験を看護部のほか各部署で受け入れました。

病院会計に関する問い合わせは
市立病院業務課経理係 ☎364-15521